

授業科目	*母性看護学概論					実務家教員担当科目	○				
単位	1	履修	必修	開講年次	2	開講時期	前期				
担当教員	杉浦 絹子										
授業概要	<p>母性看護とは何かについて、母性看護の主要な概念を中核に据え、多角的な視点から学修する。 なかでも中核となる概念であるリプロダクティブ・ヘルス/ライツを基盤として、思春期から更年期の女性のライフサイクル各期における健康問題とその予防、女性の QOL 向上のための方策について理解を深める。</p> <p>以上のことについて、実務家教員として臨床での実務経験を有する教員が教授する。</p>										
授業形態	講義			授業方 法							
学生が達成すべき行動目標											
標準的 レベル	<ol style="list-style-type: none"> 母性看護の基盤となる概念について述べるができる。 母性看護の対象の特性をふまえ、母性看護の目的について述べるができる。 母子保健の動向、母子保健に関する法律・制度および社会背景について述べるができる。 女性のライフサイクル各期の健康問題とその看護について述べるができる。 										
理想的 レベル	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの概念を理解し、女性の生涯にわたる健康の維持向上および QOL の向上のために何が必要かについて考察できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法		評価割合 (数値)				備考					
試験		80%									
小テスト											
レポート											
発表 (口頭、プレゼンテーション)											
レポート外の提出物											
その他		20%				授業への積極的な参加姿勢。ミニッツペーパー。					
カリキュラムマップ (該当 DP) ・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	DP5	-	ナンバリン グ	NU21312J
学習課題 (予習・復習)										1 回の学習目安 (時間)	
<p>予習 教科書の該当箇所を読んでおく。</p> <p>復習 教科書および授業時に配布した資料を用いて学習内容を理解する。</p>										4	
授業計画											
第 1 回	<p>テーマ：母性看護とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性とは ・母性看護の対象と目的 										

	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護の特徴
第2回	<p>テーマ：母性看護における主要な理論と概念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母性論 ・親子の絆、愛着に関する理論 ・親子相互作用モデル ・女性中心のケア ・家族中心のケア ・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ ・セクシュアリティ ・ジェンダー
第3回	<p>テーマ：母子保健の動向と母子保健施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健の動向 ・母子保健の課題 ・母子保健に関する法律 ・母子保健施策
第4回	<p>テーマ：現代女性のライフサイクルと健康問題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のライフサイクルと健康問題 ・女性特有の健康問題 ・性差医療
第5回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護①思春期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレコンセプションケア ・思春期の女性の代表的な健康問題 ・思春期の女性への看護のポイント
第6回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護②成熟期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成熟期の女性の代表的な健康問題 ・成熟期の女性への看護のポイント
第7回	<p>テーマ：女性の生涯における健康問題と看護③更年期の女性における健康問題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更年期の女性の代表的な健康問題 ・更年期の女性への看護のポイント
第8回	<p>テーマ：リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する倫理的課題と看護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生殖補助医療と倫理的課題 ・出生前診断と倫理的課題 ・倫理的課題に直面した際の自己決定支援
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・母性看護学概論/ウィメンズヘルスと看護、渡邊浩子、板倉敦夫、松崎政代編、メヂカルフレンド社

<p>参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・最新版国民衛生の動向 厚生労働統計協会 ・こども家庭庁ホームページ https://www.cfa.go.jp/ ・内閣府 男女共同参画局ホームページ https://www.gender.go.jp/policy/sokushin/sokushin.html ・厚生労働省研究班 女性の健康推進室 ヘルスケアラボ https://w-health.jp/ ・病気がみえる9 婦人科・乳腺外科 メディック・メディア
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>ミニツツペーパーに書かれた質問等には、次回の授業の冒頭で回答し、クラスで共有します。成績発表後に評価点分布図を提示します。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>看護者として母性看護を提供するという視点のみならず、将来産み育む性でもある今の自分自身の中からだところの健康を保つために必要な知識を学んでいただきたいと思います。日頃から女性の健康に関するマスメディアの報道や記事に興味・関心を持って情報に触れてください。</p>

